

下大静脈・右房内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝切除の意義を検討する後ろ向き多施設共同観察研究

1. 研究の対象

1990 年 1 月～2016 年 3 月に当院で下大静脈もしくは右房内に腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対して手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

下大静脈もしくは右房内に腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する手術の意義を明らかにすることを目的とし、患者さんの情報を山口大学で解析します。参加した医療機関から集めた情報は、誰のものかわからないかたちで山口大学に送られます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：現病歴、既往歴、血液検査所見、画像検査所見、病理組織検査所見 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 永野 浩昭
大阪大学 消化器外科 江口 英利
大阪国際がんセンター 消化器外科 和田 浩志

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化器外科 和田 浩志

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化器外科 和田 浩志

研究代表者：

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 永野 浩昭

-----以上